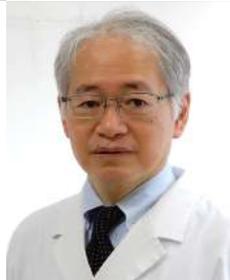
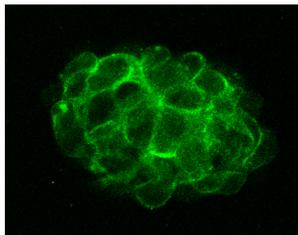
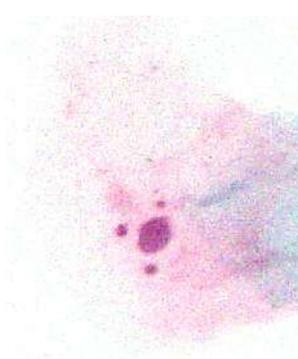


所属・職位	医学部医学科歯科口腔外科学講座・教授	
氏名	河野 憲司 (Kawano Kenji)	
取得学位	歯学博士、九州大学、1990年1月	
SDGs目標		

研究分野	口腔外科学、口腔病理学、細胞生物学
研究キーワード	口腔癌、口腔潜在的悪性疾患、口腔粘膜疾患、口唇裂、口蓋裂、

研究内容	<p>1. 口腔癌の浸潤・転移に関する研究 病理組織学的手法と細胞生物学的手法により口腔扁平上皮癌の浸潤・転移機序の研究を行っている。口腔癌における接着因子（カドヘリン、インテグリン）や細胞外マトリックスの発現と臨床動態の関連を調べ、さらに<i>in vitro</i>三次元癌微小環境モデルを用いて癌細胞の浸潤能と運動能の亢進機序を解析している。</p> <p>2. 癌化リスクの高い口腔潜在的悪性疾患のスクリーニングに関する研究 口腔潜在的悪性疾患（口腔癌の前駆疾患）から採取した細胞の遺伝子損傷や癌化関連遺伝子の異常をもとに癌化リスクを評価し、高癌化リスク症例を選別し発癌前に治療を行う。</p> <p>3. 口腔癌および口腔潜在的悪性疾患の疫学的研究 大分県内での口腔がん検診、ネパールカトマンズ大学との共同で行っているネパール人の口腔粘膜疾患検診をもとに、口腔潜在的悪性疾患の頻度に関する調査研究を行っている。</p> <p>4. 口唇口蓋裂の手術に関する研究 口唇口蓋裂術後の長期的観察により、自然な口唇鼻形態と正常の口腔機能を獲得するための術式の確立を研究している。</p>	 <p>Nカドヘリンを発現する口腔扁平上皮癌細胞株の細胞集塊</p>  <p>micronucleiをもつ異常細胞（口腔白板症の上皮細胞）</p>
	研究業績・アピールポイント	<p>上記の研究成果は次の論文、大学HPで公開している。</p> <p>1. 口腔癌の浸潤・転移に関する研究： Exp Cell Res 262:180-196,2001 Oral Oncol 38:549-556,2002 Head Neck 28:525-533,2006 J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 29:116-121, 2017 J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 32:400-405, 2020</p> <p>2. 口腔癌および口腔潜在的悪性疾患の疫学的研究： http://www.med.oita-u.ac.jp/rpp/report/2020burst02.pdf https://www.oita-u.ac.jp/O1oshirase/topics/2019-010.html https://www.oita-u.ac.jp/O1oshirase/topics/2020-002.html</p>

- 役員
- 大学院教育学研究科
教育学部
- 経済学部
- 医学部
- 医学部附属病院
- 理工学部
- 福祉健康科学部
- その他学内施設等